

6. メンテナンス

メンテナンスの時期

以下の項目と時期の目安で保守点検を行って下さい。

項目	外部検査・清掃	部品交換チェック
始業点検	○	
1ヶ月毎	○	(○)
1年毎	○	○

外部検査・清掃・・・各部に汚れや傷があるか目視にて確認します。

部品に汚れが付着している場合は清掃を行ってください。

(「6.1 本体の清掃」をご参照ください)

部品交換チェック・・・部品の傷や磨耗が著しい場合は必要に応じて部品の交換を行ってください。

(「6.2 部品の交換方法」および「8 保守部品」をご参照ください)

<部品交換の目安>

パイプ : 内部に無数の傷が付いた時や、割れた時。

ディスク : 表面にワークが引っかかる程の凹みや傷が付いた時。

外周部にバリが発生した時。

パイプホルダ : 切断面が削れてきた時。

ワーク検出センサ : センサが故障した(基板の赤色 LED が点灯しなくなった)時。

※グリス供給箇所はありません。

1日8時間稼働の場合の目安です。

稼働率が高い場合は状況に応じて点検時期の間隔を短くしてください。

■ ■ 6.1 本体の清掃 ■ ■

- ・周囲にほこり・異物が散乱している場合は、まずこれらを払って除去してから本機の清掃を行います。清掃時は、いったんパイプ内のワークをすべて取り出してからアルコールを含ませた柔らかい布で汚れを拭き取って下さい。

※石油系溶剤は、樹脂や塗装面を傷めるので使用しないで下さい。

パイプ内のワークを取り出す際には、ジョイントブラケットと IF 運転検出ケーブルを外し、本機を逆さにして取り出しを行ってください。

※部品の取外しは「6. 2 部品の交換方法」をご参照ください。

・パイプの清掃

本体から取り外した状態で、アルコールを染み込ませた柔らかい布で汚れをふき取ってください。



・ディスクの清掃

ディスクを取り外し、布で表面を拭いてください。

(ディスクの取り外しは、「6. 2. 2 ディスクの交換」をご参照ください)

・パイプホルダの清掃

ディスクを取り、パイプホルダの内側を布で拭いてください。

またディスクの下側にごみがある場合は、エアブローでごみを取り除いてください。



・ スライダの清掃

スライダの内側を拭いてください。

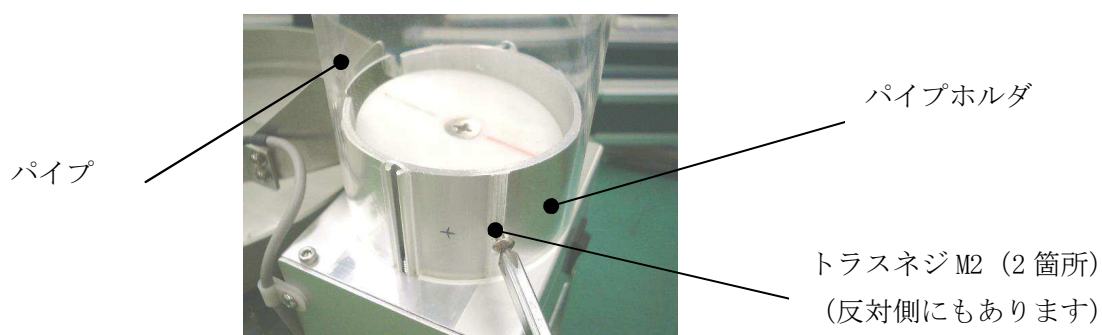


■ ■ 6.2 部品の交換方法 ■ ■



取り付け、取り外し作業は、必ず電源を切った状態で、モータが十分に冷えてから行ってください。

6.2.1 パイプの交換



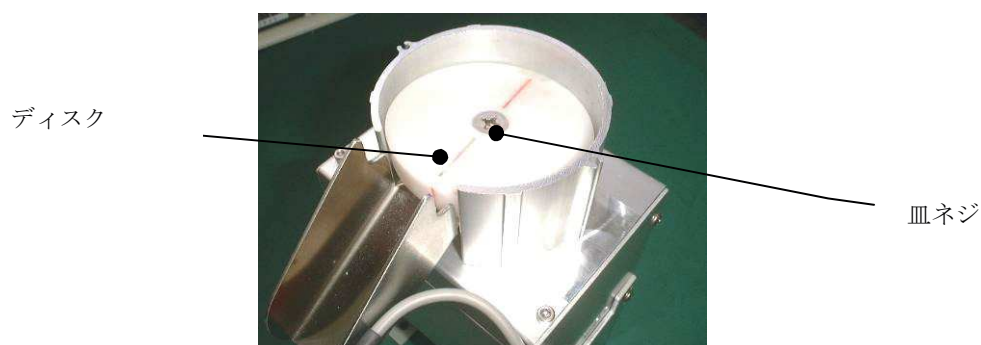
(1) パイプ取り外し

- ① パイプ外周の M3 トラスネジ 2 本を取り外します。
- ② パイプをパイプホルダから引き抜きます。

(2) パイプ取り付け

- ① パイプをパイプホルダに差し込みます。
パイプの切欠きの向きに注意してください。
- ② パイプを M3 トラスネジ 2 本で固定します。

6. 2. 2 ディスクの交換



(1) ディスク取り外し

- ① パイプを取り外します (6.2.1をご参照ください)
- ② ディスク中心の皿ネジを取り外します。
- ③ ディスクを取り外します。

取り外しにくい場合には、マイナスドライバーなどを差し込んでディスクを上を持ち上げてください。

(2) ディスク取り付け

- ① ディスクをディスクマウントにセットします。
※ディスク裏面とディスクマウントのDカット部を合わせてセットしてください
- ② ディスクを皿ネジで固定します。
- ③ パイプを取付けます (6.2.1をご参照ください)。

6. 2. 3 パイプホルダの交換

(1) パイプホルダ取り外し

- ① パイプ外周上の M3 トラスネジ 2 本を取り外し、パイプを引き抜きます。
- ② 本機側面のケーブルクリップ固定のネジを外します。



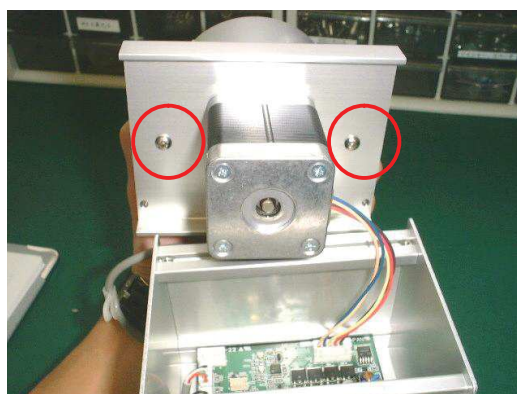
- ③ モーターベースを固定している M3 六角穴付ボルトを取り外します。



- ④ モーターベースをボディケースから取り外します。
※モーターケーブルで繋がったままですので、無理に引っ張らないように注意してください。



- ⑤ モーターベース裏側のタッピングネジ 2 本を取り外します。



- ⑥ パイプホルダを取り外します。



(2) パイプホルダ取り付け

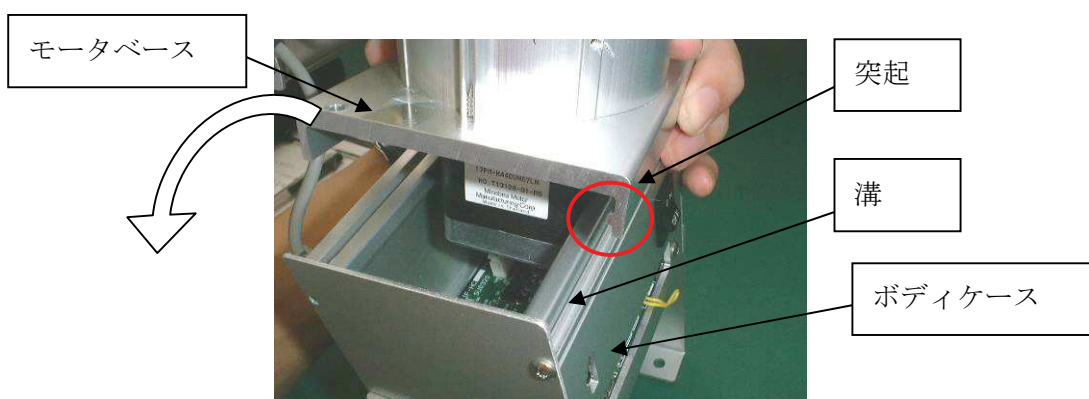
- ① パイプホルダをモータベース上にはめ込みます（前後の向きに注意）



- ② モータベース裏側からタッピングネジ2本で固定します。



- ③ モータベースをボディケースに取付けます。
モータベースの固定用突起を、ボディケースの溝に引っ掛けるように取付けてください。



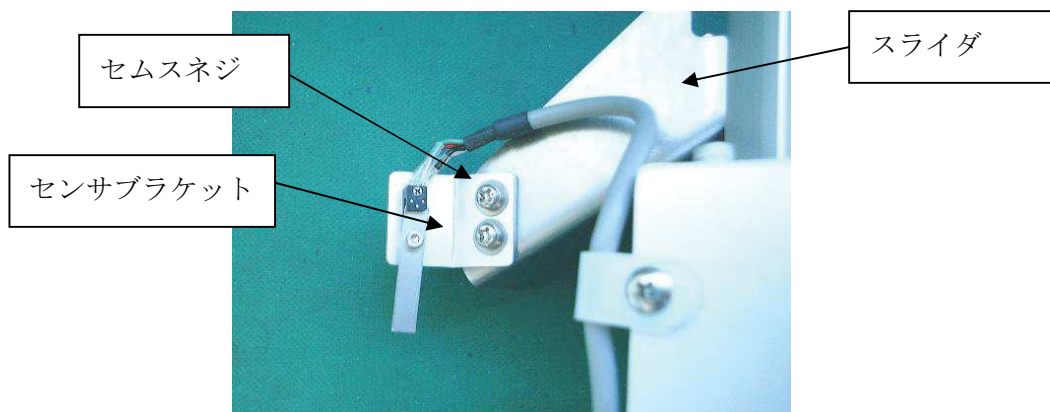
- ④ モータベースを六角穴付ボルトで固定します。
本機を傾けて、ナットと取付穴の位置を合わせてください。
- ⑤ 本機側面にケーブルクリップを取付けます。

6. 2. 4 ワーク検出センサの交換

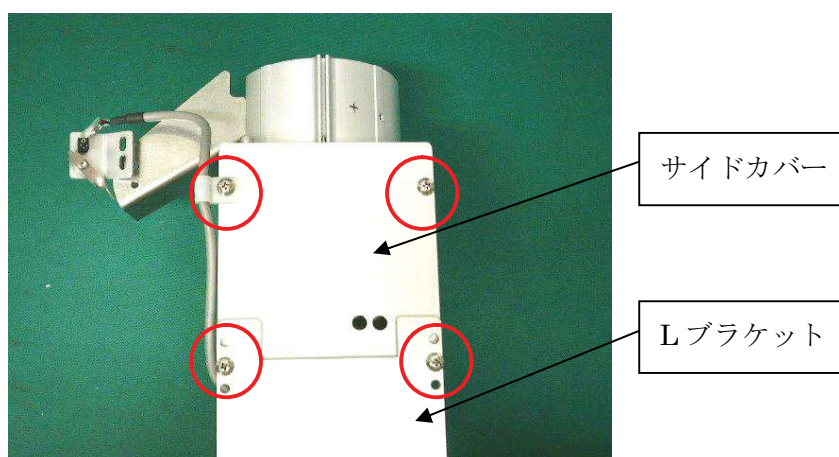
※ワーク検出センサの交換は、本機を IF から取り外した状態で行って下さい。

(1) ワーク検出センサ取り外し

①セムスネジを外し、スライダからセンサブラケットを取り外します。

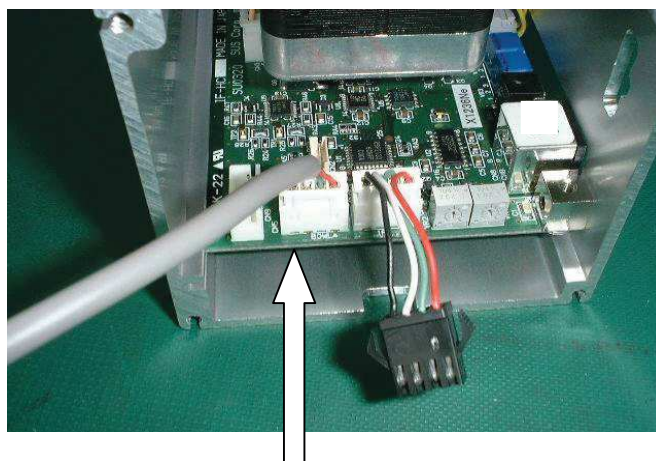


②センサ取付側のタッピングネジを外し、サイドカバーとLブラケットを取り外します。



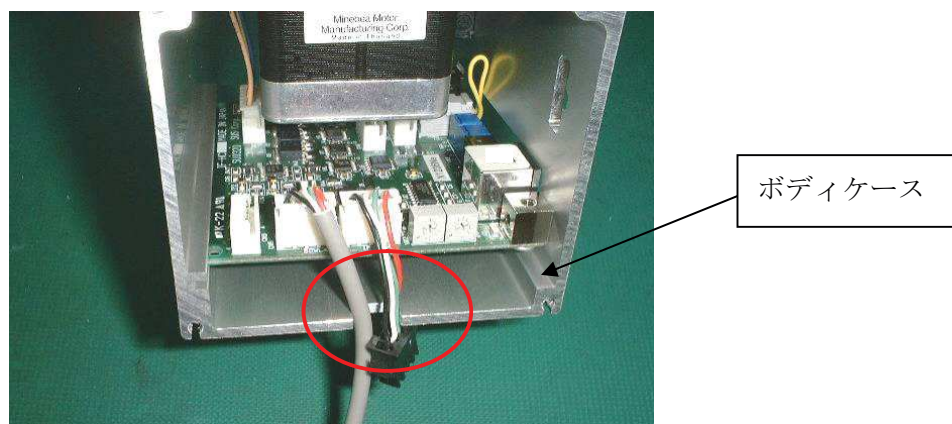
③基板からセンサコネクタを外します。

左側（基板に「BOWL」と書いてある方）です。

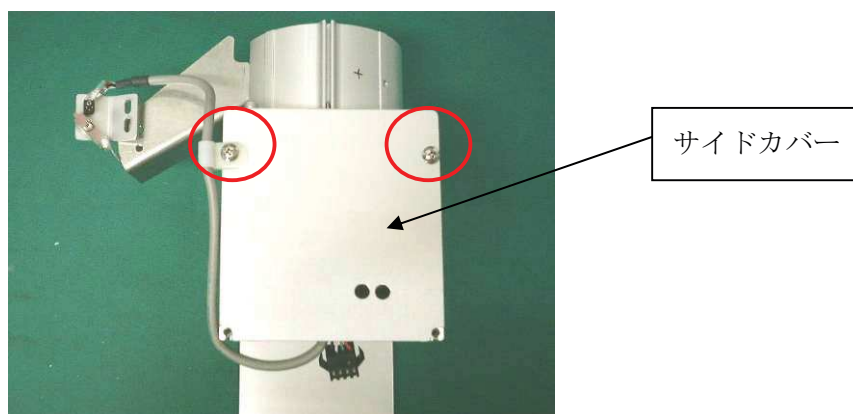


(2) IF ワーク検出センサ取付

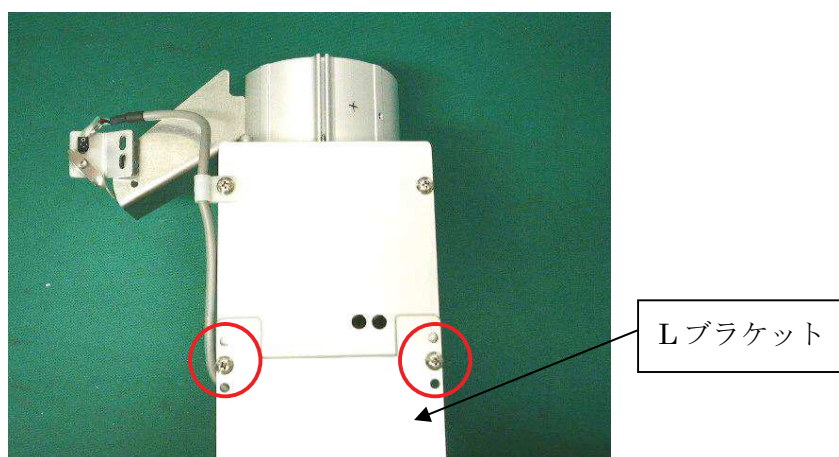
- ① 基板にセンサコネクタを取付け、センサケーブルをボディケースの切欠きに通します。



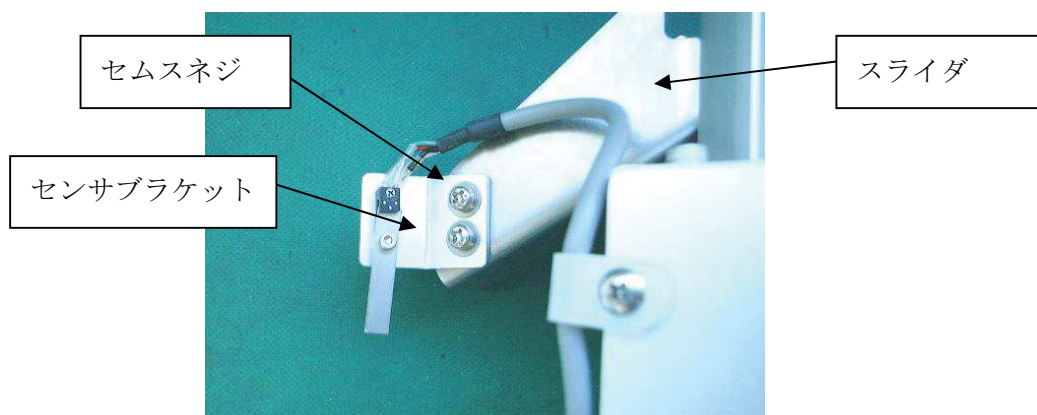
- ② サイドカバーをタッピングネジで取付けます。(上側 2箇所)



- ③ L ブラケットをタッピングネジで仮止めします。
※後で調整を行う為、仮止めにしてください。



④センサブラケットをスライダに取付けます。



⑤本機を立てて、左右のLブラケットの接地を確認します。



左右のブラケットが両方とも接地し、ガタツキや浮きが無いことを確認してください。

⑥Lブラケットの取付ネジを増し締めします。

